

# 水道スマートメーター協議会 今後の活動(案)

資料1

テーマ	課題	協議会の対応
1) 共同検針のあり方	電気・ガスとの共同検針化は、通信インフラ投資コストの低減化が期待できる(特に都市部)。その一方で、相手先の制約に縛られる懸念。	取組み事例(東京都、横浜市)を基にケーススタディ
2) 管網管理への活用	宅内漏水+管網漏水の検知	神奈川県、神戸市事例を基にケーススタディ
3) ビッグデータの取扱い	検針用途外のデータ収集及びデータ利活用に関する法規則の抵触を確認。 ビッグデータの価値(水運用計画、アセットマネジメント、マーケティング用途など)	【参考資料1: パーソナルデータ】
4) 新技術の共有	技術の進展が早いため、最新動向の収集を継続する。	【参考資料2: ドローン、クラウド】
5) 海外の事例	欧米の先進事例収集を継続する。	【参考資料3: SWAN Forum】

## 水道スマートメーター議論の前に・・・

